

# 2020-21 年度 第 2780 地区方針および目標

第 2780 地区ガバナーエレクト 久保田英男 (鎌倉 RC)

## 地区方針 「TOGETHER~+もっと自由に」

『楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。』

ホルガー・クナーク 2020-21 年度 RI 会長は、国際協議会でこのように語りました。

仲間が集い (together)、おなじ目標に向けて協力し進むことで、一人では成し遂げられないことを可能にします。ロータリークラブは、一人一人に異なる生業を持つ者が集い、地域・国際社会に奉仕し、若い世代を育て、仲間の親睦深め、日々様々なシーンで活躍しているのです。小さな灯が集まり輝く大きな光になるように、今や世界を照らしています。

一方で、その輪をもう少し広げること大切だと考えています。せっかく 100 年以上もの間、積み重ねてきたものをもっと多くの人に知ってもらい、そして参加してもらいたい、と思いませんか。何故なら、もっと多くの人が集まれば、多くのアイデアが集まり、より大きなこと不可能とっていたことが実現出来るかもしれません。何より多くの人に機会を提供できれば嬉しく思いませんか？

その為に何をしますか。

クラブの会員を増やすのもいいでしょう。

例会時間や曜日が合わなくて入会を迷っている若者の為に、衛星クラブや新クラブを作ること、ローターアクトクラブを提唱するのも、いいかもしれません。ロータリー地域社会共同隊 (RCC) も有効な方法ではないでしょうか。ほかにもまだまだ方法はあります。あらゆることを自由に考えてみましょう。

1905 年シカゴで 4 人が集まる (together) ことから始まりました。今年は日本にロータリークラブが誕生して百年目です。次の百年へ向けた新しい時代の扉を一緒に開けてみませんか。

### 【ロータリービジョンの声明】

『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、  
持続可能な良い変化を生むために、  
人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』

「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」

## 地区目標

### 1. RI 会長テーマおよびビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進

### 2. RI ロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞の各項目は、客観的に自クラブを評価できるように設計されているので、クラブの強み弱点を把握できる利点があり、積極的に活用し、クラブの活性化活用してもらいたい。

### 3. 会員増強・会員維持・クラブ拡大

- ・地区会員数を 2021 年 7 月 1 日時点で、2500 人以上に
- ・女性会員比率の向上
- ・新クラブ（衛星クラブ等を含む）の拡大

### 4. 青少年育成の推進

- ・インターアクト、ローターアクトクラブへの支援および協力の強化。また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。
- ・インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大
- ・RYLA 開催(若い世代のリーダーを育成・発掘)
- ・青少年交換事業の理解と協力

### 5. クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

戦略計画を基礎として、各クラブでは、今後5年間程度の中期ビジョンを策定しクラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。その為に、戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、またはより活発に活動して頂きたい。

### 6. 奉仕活動推進のためのロータリー財団への年次寄付

- 目標1：地区年次寄付 50 万ドル
  - 目標2：ゼロクラブゼロの継続と全会員寄付の達成
  - 目標3：恒久基金 70,000 ドル増
- |      |      |                  |
|------|------|------------------|
| 《目安》 | 年次寄付 | 200 ドル/1 名       |
|      | 恒久基金 | 1,000 ドル以上/1 クラブ |

### 7. 米山奨学会寄付

寄付目標：5000 万円(20,000 円以上/1 名) 普通寄付+特別寄付

### 8. ポリオ根絶の推進

- ・ポリオ根絶キャンペーン促進、ポリオデーの実施
- ・ポリオ寄付の推進(目標 100,000 ドル(40 ドル/1 人))

### 9. 『1 クラブ 1 プロジェクト』の継続とプロジェクト支援

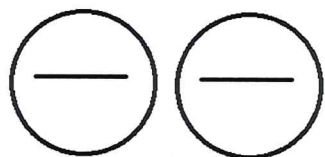
2019-20 年度地区方針「1 クラブ 1 プロジェクト」を継続し推奨すると共に、プロジェクト実施のクラブ支援体制を整える。



国際ロータリー第2780地区

2020-21年度方針

ガバナー公式訪問に備えて

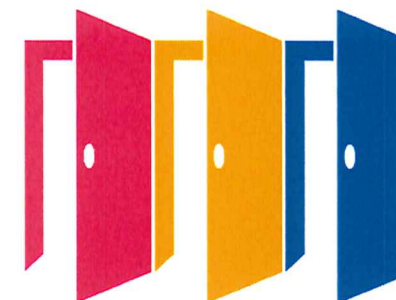




## 本日のご案内

<ガバナー公式訪問に備えて>

# AG自己紹介



ロータリーは機会の扉を開く

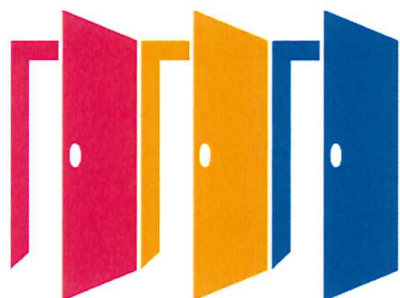
2020-21 年度RI 会長

# ホルガー・クナーク氏

ドイツ、ヘルツォークトウム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ

RI 会長テーマ

## 「ロータリーは機会の扉を開く」



ロータリーは機会の扉を開く

『楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。』



### 【ロータリービジョンの声明】

『私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。』

「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.」



# ガバナーご挨拶



## 「TOGETHER～もっと自由に」

今年度ホルガー・クナーケRI会長は、『ロータリーは機会の扉を開く』をテーマに選びました。この数か月の経験を経て一層、この言葉が意味すること、指し示す方向、皆さんもお分かりのことと思います。その扉は無数にあります。そして、その鍵を持っているのは皆さんです。すでに一つ私たちは新しい扉を開きましたね。まだまだたくさんある扉を、また一緒に開き、その先にある壮大な世界を一緒に体験しましょう。2020-21年度が、ロータリーにとって、あなたにとって素敵な未来に向けて入口でありますように。



国際ロータリー第2780地区  
2020-21年度ガバナー  
**久保田 英男**

# ガバナー略歴



2005年9月	鎌倉ロータークラブ入会
2006年～2008年	地区ローターアクト委員会 委員
2008年～2009年	地区ローターアクト委員会 副委員長
2009年～2010年	鎌倉ロータークラブ 幹事
2010年～2011年	地区ローターアクト委員会 副委員長
2011年～2012年	地区ローターアクト委員会 委員長
2012年～2013年	地区副幹事
2013年～2014年	地区ローター財団補助金推進委員会 委員長
2014年～2015年	鎌倉ロータークラブ 会長
2015年～2016年	第2グループガバナー補佐 オンツースウル国際大会委員会 委員
2016年～2017年	地区財団補助金委員会 委員長 地区ローター財団100周年委員会 委員
2017年～2018年	地区青少年奉仕委員会 委員長 インター・ローターアクト委員会 委員長 地区危機管理委員会 委員
2018年～2019年	ガバナーノミニー 地区戦略計画委員会 委員 地区危機管理委員会 委員
2019年～2020年	ガバナーエレクト オンツースウル国際大会 委員長 地区戦略計画委員会 委員 地区危機管理委員会 委員 地区立法案検討委員会 委員 姉妹地区委員会 委員 地区 IT 委員会 委員

家族】妻・美登里  
亡き父・叔父もロータリアン  
共に鎌倉 RC



国際ローター第2780地区  
2020-21年度ガバナー  
**久保田 英男**

【生年月日】  
昭和 35 年 (1960 年) 11 月 20 日  
【職業分類】  
菓子製造販売  
【会社役職】  
株式会社豊島屋 常務取締役

# 地区目標





# 1. RI会長テーマおよび ビジョン声明・戦略(行動)計画・強調事項の推進

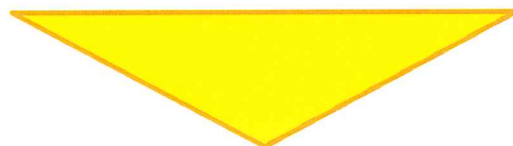
先述の通り2020-21年度のRI会長テーマ『ロータリーは機会の扉を開く』の意味を考え、それに相応しい活動を期待しています。

「ロータリーのビジョン声明」及び「ロータリーの戦略的優先事項」「ロータリーの中核的価値観」の理解と周知をお願い致します。そして、5年後どのようなクラブになりたいかを自問しクラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考える為の「クラブ戦略(長期)計画会議」の実施を推奨いたします。



## 2.RIロータリー賞への積極的なチャレンジ

ロータリー賞の各項目は、客観的に自クラブを評価できるように設計されているので、クラブの強み弱点を把握できる利点があり、積極的に活用し、クラブの活性化活用してもらいたい。



ロータリー賞は、表彰の為にあるのではなく、目標設定・目標管理にあります。先に推奨した「クラブ戦略(長期)計画会議」を開催し、クラブのみんなで目標を設定するのもいいでしょう。目標や目的をクラブ内で共有することは、必ず結束を一層強くします。

### 3. 会員増強・会員維持・クラブ拡大

- ・地区会員数を2021年7月1日時点で、2500人以上に
- ・女性会員比率の向上
- ・新クラブ（衛星クラブ等を含む）の拡大



ロータリーは「世界を変える行動人」の集まりで、そこには性差(LGBTQも含まれて当然です)は不要だと思っています。同様に「若い会員」もそう感じます。 unnecessaryな形容詞をつけずクラブにとって必要な人材を迎えましょう。

## 4. 青少年育成の推進

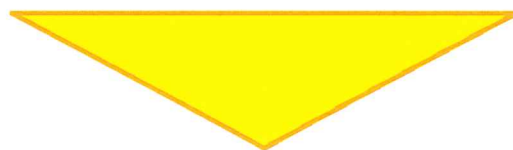


- ・インターアクト、ローターアクトクラブへの支援および協力の強化。  
また、ロータリー賞受賞に向け、指定された項目をクラブで実行するよう奨励する。
- ・インターアクト、ローターアクトの新クラブ拡大 厳しい状況
- ・RYLA開催(若い世代のリーダーを育成・発掘) 本年度は実施せず
- ・青少年交換事業の理解と協力 本年度は実施せず

ロータリーは「同列」「公平」「平等」という立場が明確でありながら、時には若者に寄り添う「兄姉」「親子」「子弟」であり、若者に対して「尊敬」「感謝」を臆することなく表します。多感な世代の若者にとっては、この距離感での関係とそこで得る経験は、将来において大きな財産になります。

## 5. クラブの戦略(長期)ビジョン策定の推進

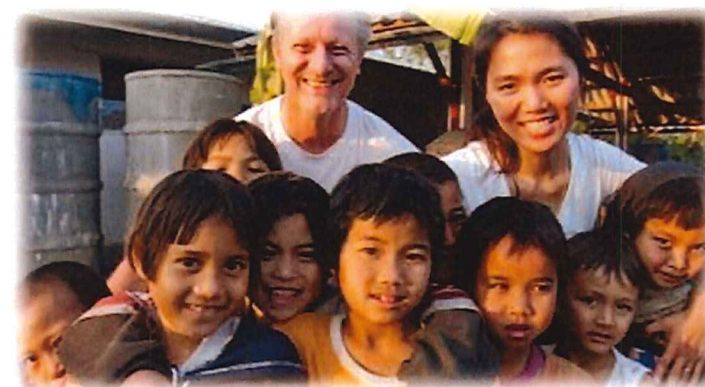
**戦略計画を基礎として、各クラブでは、今後5年間程度の中期ビジョンを策定しクラブの将来のあるべき姿を描き、その実現に向けての行動計画を立てていただきたい。その為に、戦略計画委員会または長期計画委員会等の委員会を立ち上げ、またはより活発に活動して頂きたい。**



単年度ではなく、長期的な計画も必要です。そして、それは、大き過ぎず、抽象的ではなく、誰もイメージできることが重要だと思います。

一方、小さな成功の積み重ねが大きな目標の達成につながります。未来の成功の為に、今年度はただ準備をするだけ、計画を立てるだけでは不十分です。今年度、何を行い、それをどのように実現するか、も考え実行して下さい。

## 6. 奉仕活動推進のための ロータリー財団への年次寄付



**目標 1 : 地区年次寄付50万ドル**

**目標 2 : ゼロクラブゼロの継続と全会員寄付の達成**

**目標 3 : 恒久基金 70,000ドル増**

**《目安》 年次寄付 200ドル/1名**

**恒久基金 1,000ドル以上/1クラブ**

年次寄付目標と恒久基金の増額目標は、当地区においての10万ドルの地区補助金原資(3年後)、4名の奨学生排出、毎年1～3件のグローバル補助金事業が可能になるようそのための原資確保です。

寄付の大小ではなく各クラブ、全ロータリアンが、ロータリーとロータリー財団の目的と意義を理解し、協力することを目的としています。理解なく寄付するのは、そのお金は十分活かされるとは思いません。みんなが進んで協力する意識を作り上げたいと願っています。

## 7.米山奨学会寄付



**寄付目標：5000万円(20,000円以上/1名) 普通寄付+特別寄付**

米山奨学事業ほど、日本ロータリーの国際親善に寄与している事業はないかもしれません。この寄付もロータリー財団への寄付と同様、金額の大小より米山奨学事業への理解を第一に考え、心から日本で学ぶ奨学生の為にと、気持ちよく協力いただけるように努めていきたいと思っています。寄付目標は、当地区で出せる奨学生数を確実に維持でき、なおかつ一名でも多く輩出できるよう希望を込めています。

米山奨学生・米山学友会の学生たちと、できるだけ積極的に交流して頂けるとありがたいです。

## 8.ポリオ根絶の推進



- ・ポリオ根絶キャンペーン促進、ポリオデーの実施
- ・ポリオ寄付の推進(目標 100,000ドル(40ドル/1人))

「ポリオはいつ終わるのか」「まだやるの?」という声をよく耳にします。

「あと少しと言ってから何年?」とも言われます。そう思われるのもよくわかっています。

しかし、『1』と『0』は大きな違いがあります。『1』は2にも3にも増えやがて百千万となる可能性があります。『0』が存在しないので、増えることはないのです。その『0』への戦いが続いています。絶対に無理、とあきらめる前に「何ができるか」真剣に考えましょう。私たち日本は1980年代にポリオフリーになりました。が今でも子供達にはワクチン接種が続けられています。それは、この地球上にポリオウイルスが存在するからです。根絶すれば予防接種の手間もコストもなくなり、なにより不安から完全に開放されるのです。

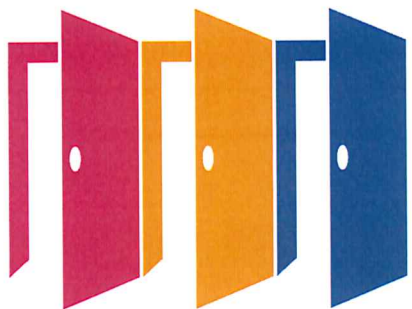
クナークRI会長エレクトも「私たちは、世界の子供達にポリオを根絶すると約束しました。約束は必ず果たさなくてはなりません」と語りました。約束を果たすために私たちのできることをしましょう。



## 9. 『1クラブ1プロジェクト』の 継続と奉仕プロジェクト支援

**2019-20年度地区方針「1クラブ1プロジェクト」を継続し推奨すると共に、奉仕活動・奉仕プロジェクト実施のクラブ支援体制を整える。**

2019-20年度第2780地区杉岡芳樹ガバナーは、昨年のPETSで『1クラブ1プロジェクト』の地区目標を掲げられました。とても素晴らしい具体的なアイデアであり、それはこれこそ単年度で終わらせるスローガンではなく継続してこそ、意義があるのではないのでしょうか。2019-20年度に着手できていないクラブも、是非英知を結集し、2020-21年度には素晴らしいプロジェクトを創り上げて下さい。もちろん「従前より当クラブは持っている」というクラブもステップアップ、グレードアップして、頂きたいと思います。



ロータリーは機会の扉を開く

皆様のご活躍を心からご祈念いたします。

